プリマハムグループ 環境方針

私たちプリマハムグループは、「おいしさと感動で、食文化と社会に貢献」という「目指す姿」のもと、当社グループの持続的な成長を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
私たちは、自然の恵みを原材料に食肉・加工食品事業を展開しており、豊かな自然環境を次世代へ継承する責任があります。
その責務を果たすため、以下の行動指針に基づき、脱炭素社会、資源循環社会、自然共生社会を目指して、環境経営を行います。

行動指針

1. 脱炭素社会

- 気候変動の緩和のため、バリューチェーン全体での温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、適応策についても推進を図ります。

2. 資源循環社会

- エネルギー、水資源、プラスチック等の各種資源の持続可能な利用及び使用量削減を図ると共に、廃棄物の削減・再資源化等、環境負荷の極小化に取り組みます。
- 開発・設計から原材料の調達・製造・物流・販売・廃棄にいたるまでのライフサイクル全体を考慮し、環境負荷低減に寄与する製品・サービスの提供および技術の研究に取り組みます。

3. 自然共生社会

- 自然の恵みを持続的に享受できるよう、生態系・生物多様性への影響を最小化し、その保全と回復に取り組みます。
- 大気汚染物質の適正管理、排水の適正処理を行い、環境汚染の未然防止に取り組みます。
- 良き企業市民として、地域社会と共に自然環境の保全活動を進めます。

4. 環境ガバナンス

- 関連する環境法令はもとより、自主管理基準及びステークホルダーと合意した事項等を順守します。
- 国際開示基準に則った環境情報の開示に努め、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進します。
- 本方針が全ての事業活動に組み込まれ、効果的に実行されるよう、定期的に環境マネジメントシステムを見直し、継続的な改善に取り組みます。
- 全ての役員・従業員に適切な教育・研修を実施し環境問題に対する意識の向上を図り、組織全体での環境課題の解決に取り組みます。

プリマハム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員
千葉 尚登
最終改定　　2024 年 4 月 8 日